

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2003-287974(P2003-287974A)
【公開日】平成15年10月10日(2003.10.10)
【出願番号】特願2002-91814(P2002-91814)
【国際特許分類第7版】

G 0 3 G 15/20

G 0 3 G 15/00

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 7

G 0 3 G 15/00 5 1 8

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月18日(2005.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

帯電した未定着トナー像を担持した被記録材を加熱加圧してトナー像を定着させる像加熱装置と、前記像加熱装置に被記録材を搬送速度で搬送する搬送装置と、を備えた画像形成装置において、

該像加熱装置は、被記録材に伝える加熱回転体と、該加熱回転体とニップを形成する加圧回転体と、を具備し、前記加熱回転体と前記加圧回転体とのニップで被記録材を定着速度で挟持搬送し、

前記被記録材の種類に応じて、前記搬送速度と前記定着速度との速度比が異なることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

前記搬送装置は、前記搬送速度で被記録材を前記像加熱装置へ搬送し、トナー像を被記録材に転写する転写ローラを備え、

前記転写ローラと前記像加熱装置との両方で記録材を搬送することを特徴とする請求項1に記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記搬送速度と前記定着速度との関係が、前記搬送速度 > 前記定着速度となることを特徴とする請求項1または2に記載の画像形成装置。

【請求項4】

前記搬送装置と、前記像加熱装置とは異なる駆動手段によって駆動されることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項5】

前記被記録材を識別検知する手段を具備し、その検知結果に基づいて搬送速度及び定着速度を可変可能であることを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【請求項6】

薄い被記録材よりも厚い被記録材の方が前記搬送速度と前記定着速度との速度差が大きいことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するための本発明の代表的な手段は、帯電した未定着トナー像を担持した被記録材を加熱加圧してトナー像を定着させる像加熱装置と、前記像加熱装置に被記録材を搬送速度で搬送する搬送装置と、を備えた画像形成装置において、該像加熱装置は、被記録材に伝える加熱回転体と、該加熱回転体とニップを形成する加圧回転体と、を具備し、前記加熱回転体と前記加圧回転体とのニップで被記録材を定着速度で挟持搬送し、前記被記録材の種類に応じて、前記搬送速度と前記定着速度との速度比が異なることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0081

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0081】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、全ての紙種において、転写装置と加熱定着装置間で記録紙を引っぱることなく、且つ弛ませ過ぎることなく、紙搬送を安定させ、紙シワや画像不良等の発生しない画像形成装置とすることができる。